

教育用目録システムの運用について

現在、目録システムは業務用目録システムと教育用目録システムに分けて運用していますが、今回の目録システムの仕様改訂(1典拠リンクの任意化、2書誌構造の2階層化)に伴い、教育用目録システムのシステム環境を以下のように変更します。

なお、年度末の繁忙期を迎え、業務用目録システムの負荷が増大することが予想されます。目録システムの教育及び研修等については教育用目録システムを使用して下さいようご協力お願いします。

1. サービス運用時間

サービス時間は、業務用目録システムと同様の時間帯で行います。

2. システムの仕様改訂

従来の教育用目録システムは、システムに不具合があり、ご迷惑をおかけしていました。

また、業務用目録システムで実施している典拠リンクの任意化、書誌構造の2階層化が反映されていませんでした。今回、これらの点について対策し、昭和62年12月18日より、教育用目録システムの動作は、業務用目録システムと同一のものとなっています。

3. 教育用目録システムの機能

これまで、教育用目録システムには、雑誌目録登録及び検索の機能がありませんでしたが、昭和63年1月25日(月)から、業務用目録システムと同様の機能でサービスします。

以下の3~4、13~14の業務選択が可能となります。

(教育用目録システム初期画面)

業務選択 (教育用)		
1. 和図書目録登録	11. 和図書目録検索	
2. 洋図書目録登録	12. 洋図書目録検索	
3. 和雑誌目録登録	13. 和雑誌目録検索	
4. 洋雑誌目録登録	14. 洋雑誌目録検索	99. 業務終了
>		

教育業務システムのサービス時間帯は、次のとおりです。
なお、教育システムでは、業務モードでの利用は出来ません。
月・火・水・金 —— 9:00 ~ 18:00
木・土 —— 9:00 ~ 12:00

4. データベース内容

教育用目録システムにおいて使用するデータベースは今回の目録システム仕様改訂の内容を反映させる関係上、当分の間、オンライン・システムニュースレター No. 4(1987. 2.10) で示した通りとします。

なお、昭和63年1月25日(月)より、教育用目録システムのデータベースは以下のようになります。

ファイルの種類			内容	件数		
総合目録データベース	図書	書	和図書書誌	1987. 12. 10まで	115,656 件	
		誌	洋図書書誌	"	88,381 "	
		所蔵	和図書所蔵	"	201,528 "	
			洋図書所蔵	"	103,693 "	
		典拠	著者名典拠	"	138,970 "	
			統一書名典拠	"	390 "	
	雑誌	書	和雑誌書誌	"	40,350 "	
		誌	洋雑誌書誌	1987. 10 月まで	90,078 "	
		所蔵	和雑誌所蔵	1987. 12. 10まで	980,748 "	
			洋雑誌所蔵	1987. 10 月まで	599,573 "	
参照データベース	JP	図	カレント分	1987. 12. 10まで	677,897 "	
			書	遡及分		科学・技術編
		経済・産業編				
		社会・労働・教育編				
		政治・法律編				
		著者名典拠		26,228 "		
	TRC	図書	1985. 4. 1～1987. 12. 10	107,242 "		
	LC	図書	1982. 6～1987. 6	591,315 "		
		雑誌	1973 ～ 1987. 9. 9	358,282 "		
		著者名典拠	1977年～1987. 12. 10	1,668,523 "		
統一書名典拠		"	9,621 "			
UK	図書	1984～1987. 6	379,430 "			

5. 教育用目録システム総合目録ファイルの更新

教育用目録システムで使用する総合目録ファイルの更新は原則として行いません。また、教育用目録システムによって蓄積されるデータは、システムの運用上、昭和63年1月5日(火)より2週間毎にそのデータを消去します。

6. 教育用目録システム参照ファイルの更新

教育用目録システムで使用する総合目録ファイルと同様に、原則としてファイルの更新は行いません。

JAPAN/MARC参照ファイルについて

1. 国内刊行洋図書レコード

JAPAN/MARCの国内刊行洋図書分のレコードについて、データの入力規則が昭和63年1月分から変更となります。(資料-1)

したがって、JP参照ファイルへロードするためのシステム(定期更新システム)を変更する必要があり、昭和63年1月分からの磁気テープに含まれる国内刊行洋図書レコードについては、ロードされていませんので、ご注意下さい。準備が整い次第、おってお知らせします。

(注)洋図書目録でのJPファイル参照

オンライン・システムニュースレター No.1(1986.11.11)でお知らせしましたが、洋図書目録業務の際に国内刊行洋図書については、JP参照ファイルに入っている可能性があります。総合目録データベース、LC参照、UK参照全てのファイルにヒットしない場合は、FILE=JPと指定することにより、JP参照ファイルが検索できますので、ご利用下さい。

2. 遡及データのサービス

歴史・地理の分野(昭和44年～昭和52年目録)の遡及データが刊行されましたので、昭和63年1月5日(火)よりサービスします。

収録件数: 23,309件

(JP73000001～JP73023311 (欠番2件))

目録システムの改善について

昭和62年12月14日(月)より、次のようなシステムの改善を行いましたので、お知らせします。

1. 時差更新システムの運用について

これまで時差更新システムは、運用上の都合により、毎週月、水、金曜日の業務終了後に実施していましたが、この度、1週間を通しての運用が可能となりました。

よって、昭和62年12月22日(火)より、毎日の業務終了後に時差更新システムを運用します。

なお、当日作成されたレコード(新規追加、修正レコード)の検索は、いぜんとして、AKEY及び標準書誌番号(ISBN,LCCN,NBN等)が中心となります。

目録登録時に行う総合目録データベースの検索は、このことを十分に考慮して行って下さい。

2. PTBLフィールド(書誌構造リンク)の検索キー

総合目録データベースの和・洋図書書誌ファイルのPTBLフィールドからの検索キーの切出しを以下のように変更しています。

P	項番	項目名	検索キー切出し内容	対応検索フィールド	備考
T B L フ ィ ー ルド	1	親書誌レコードTR情報(標題及び責任表示、標題のヨミ)	検索キー切出しなし	なし	変更あり
	2	親書誌レコードID	書誌レコードID	PID	変更なし
	3	番号等(最上位の集合書誌単位に対する番号等、及び中位の集合書誌単位の標題、責任表示、標題のヨミ、番号等)	標題、標題のヨミ、番号等をワード分割してTITLEキーを切り出す 責任表示部分をワード分割して、AUTHキーを切り出す	TITLE AUTH	変更あり
	4	構造の種類	検索キー切出しなし	なし	変更なし

これまでの総合目録データベースでは、項番1の「親書誌レコードTR情報」の標題及び責任表示部分から、それぞれTITLEキー、AUTHキーが切り出されていましたが、昭和62年12月14日(月)からは検索キーが切り出されていません。また12月14日以前に登録された和・洋図書書誌レコードについても、項番1の部分からは検索キーを切り出さない対策を行っています。

これは、以下の理由によるものです。

- 目録システムでは、全ての書誌レコード(親子)が同一ファイル中に存在するため、目録登録の際に、シリーズ、あるいは、全集、講座等のセットものを検索した場合、これまでは親書誌レコードと子書誌レコードが同時にヒットしていました。しかし、総合目録データベースの大量化が進むにつれて、ヒット件数が多くなり、目録登録の効率(書誌レコードを確定するための作業)が次第に低下してくることが考えられます。今回のシステム改訂(書誌構造の2階層化)によって、データベース構造が簡素になり、それに加えてこの対策を行うことにより、書誌の構造(親書誌レコード、子書誌レコードの別)をより明確に確定することができます。

対策前と対策後(以後「新旧」と呼ぶ)の総合目録データベースでは、次のような違いがあります。

(旧総合目録)
親書誌と子書誌が同時にヒットする

```

和図書書誌検索・簡略表示      NC      1-      10/      21
>
TITLE= 数学講座
AUTH =
AKEY :      ISBN:      NBN:      NDLCN:
PUB =      YEAR:
PLACE=      CNTRY:      LANG:
SH =
WORDS=
ID :      PID:BN00666103
FILE :
1.<BN00666089>現代数学概論 / 赤根也著. -- 1976. -- (数学講座 : 1).
2.<BN00667059>確率 / 本間鶴千代著. -- 1971. -- (数学講座 : 5).
3.<BN00667401>微分方程式 / 茂木勇著. -- 1970. -- (数学講座 : 7).
4.<BN00667591>複素解析 / 高橋礼司著. -- 1979. -- (数学講座 : 8).
5.<BN0066862X>幾何とその構造 / 寺阪英孝著. -- 1971. -- (数学講座 : 9).
6.<BN0066870X>代数的構造 / 遠山啓著. -- 1972. -- (数学講座 : 10).
7.<BN00668958>位相解析 / 柴田敏男著. -- 1970. -- (数学講座 : 12).
8.<BN00669054>多様体 / 滝沢精二著. -- 1971. -- (数学講座 : 13).
9.<BN00668845>集合・位相 / 竹之内脩著. -- 1970. -- (数学講座 : 11).
10.<BN00670392>電子計算機 / 中島勝也著. -- 1970. -- (数学講座 : 14).
    
```

(新総合目録)

```

和図書書誌検索・簡略表示 (教育用)
>
TITLE=数学講座
AUTH =
AKEY :      ISBN:      NBN:      NDLCN:
PUB =      YEAR:
PLACE=      CNTRY:      LANG:
SH =
WORDS=
ID :      PID:
FILE :
    
```


イ	NDC (b)	89,617	99,529	8,722	8,722
	DC (b)	6	(d) 19	57,984	(d) 63,266
一	ISSN(b)	52	52	1,954	1,954
	件名	180,911	180,911	409,865	409,865
ル	国名	114,862	114,862	88,153	88,153
	出版地	116,196	116,196	166,026	166,026
ド	出版者	118,186	118,186	232,243	232,243
	典拠レコード ID (b)	137,541	137,541	116,752	116,752
	親書誌レコード ID	47,111	47,111	37,208	37,208

- (注) (a) 検索キー以外のフィールド:TR,ED,PUB,PHYS・・・等のフィールド。
(b) NDC,DC,ISSNについては、SEARCHコマンドにより検索可。典拠レコードIDは、LINKTO,LOOKUPにより、典拠検索を行う場合にキーとなる。
(c) 和・洋図書ともTITLEキーを大幅に減少させることができた。
(d) 検索キーフィールドのうち、旧データベースより、新データベースの件数が多いもの(特に、刊年、言語コード、DC)については、これまで、時差更新システムに不具合があったため、検索キーが切り出されていなかったものである。

3. 参照JP、TRC/MARCのTTLL及びTXTLの言語コードの付加

これまで、参照JP/MARC参照TRC/MARCのTTLL(本標題の言語コード)及びTXTL(テキストの言語コード)に対して、初期値をセットして欲しいという希望が多く寄せられていました。今回、参照MARCの2階層化対策と同時に12月14日(月)から、TTLL,TXTLにそれぞれ言語コードの「jpn」を付加する対策を行っています。

```
和図書誌詳細表示      JP      170/ 24632
>:
<GP08137790> RECST:n
GMD: SMD: YEAR:1987 CTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:
VOL: ISBN:4805477016 PRICE:500円 NBN:JP87011727
TR:たまごころがし
PUB:東京 : チャイルド本社 , 1987.2
PHYS:30p ; 25cm
NOTE:監修:益本仁雄
PTBL:チャイルド科学絵本館 <> , [ えほん版フェアブルこんちゅう記 /
小林清之介文 ; 松岡達英絵 // エホンパン フェアブル コンチュウキ ] ; 11//a
AL:Fabre, Jean Henri. <>
AL:小林, 清之介 // コバヤシ, セイノスケ <>
AL:松岡, 達英 // マツオカ, タツヒデ <>
REM:001:87011727#100:$A19870226 1987 C 0JPN 1312 ¥551:$D11¥905:
$AY11-2775
```

4. データ入力有効領域の拡張

目録システムを操作する上で、データ入力有効領域の拡張希望が多くありましたが、昭和63年1月8日(金)から、以下のように対策します。
なお、[以下の表](#)は、書誌、所蔵それぞれの新規入力画面、流用入力画面、修正画面の全ての画面で共通となっています。

「削除予定レコード」について

総合目録データベースのうち、書誌ファイル及び典拠ファイルの中で、TR、あるいはHDNGフィールドに「削除予定レコード」の文字列が記録されているレコードについては、センター側で消去しています。

これまでに消去したレコード件数は以下のようになっています。

ファイル名	削除レコード件数
和図書書誌ファイル	596件
洋図書書誌ファイル	169件
著者名典拠ファイル	102件
統一書名典拠ファイル	2件

共有レコードを削除する場合の措置としては、「目録システム利用マニュアル データベース編」の『「目録情報の基準 解説」 p.78～79』に記載してありますが、この方式で行われないケースが多くあります。

特に、「削除予定レコード」と記録されているにもかかわらず、他の書誌レコード、典拠レコード、あるいは所蔵レコードとリンクしているものが多く見受けられます。

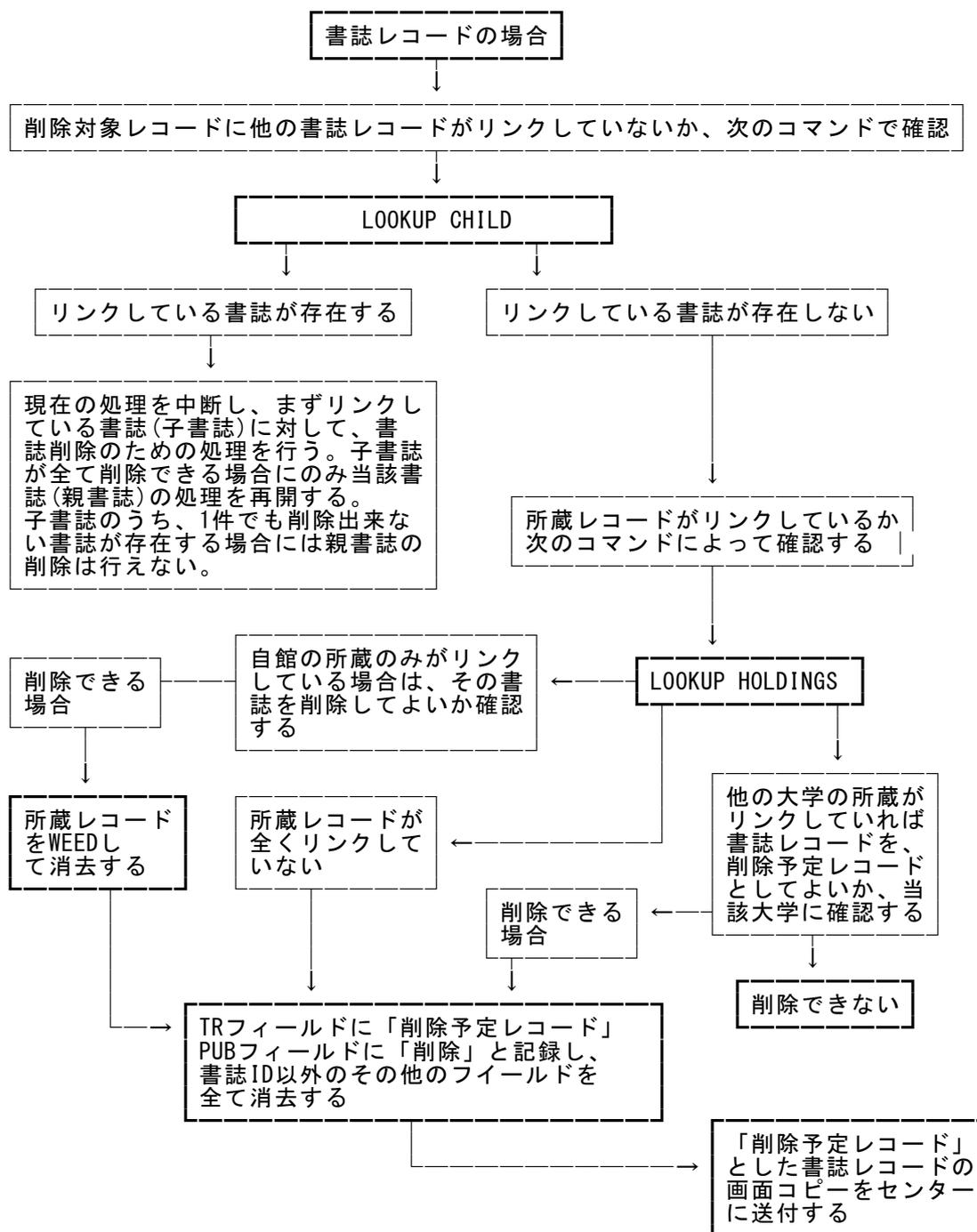
また、センター側のシステムでは、書誌レコード、典拠レコードのTRフィールド、あるいはHDNGフィールドに「削除予定レコード」の文字列が記録されているもののみを削除する仕組みとなっています。

従って、それ以外の文字列が記録されているレコードについては削除されていません。

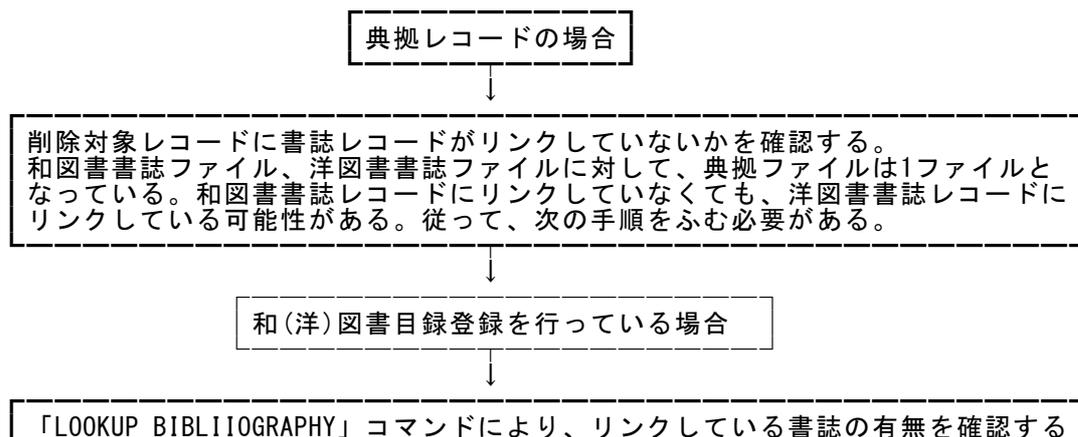
これまで、TRフィールド、あるいはHDNGフィールドに記録されていた「削除予定レコード」以外の代表的な文字列としては以下のようなものがあります。

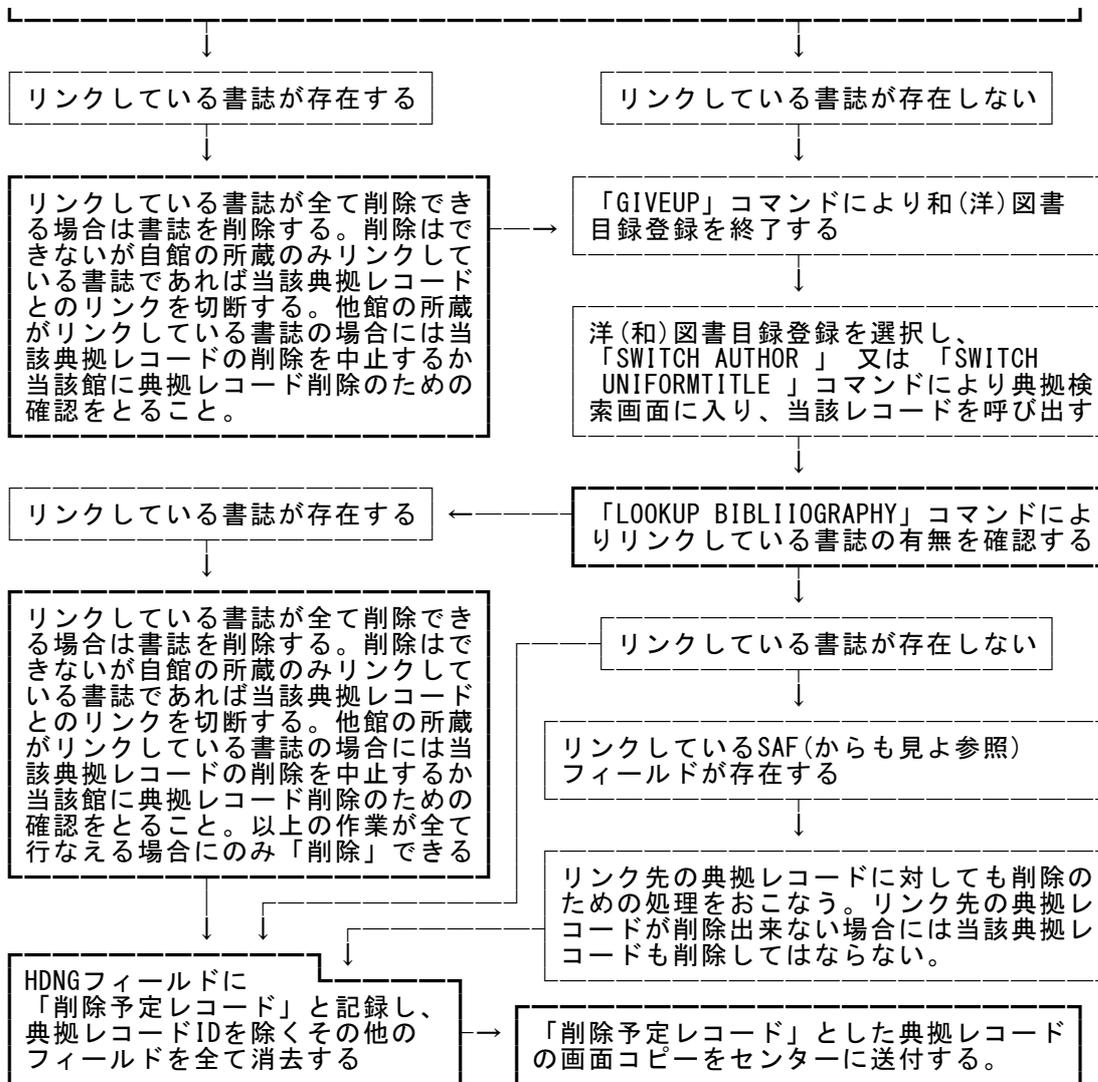
- a. 「THIS RECORD IS TO BE DELETED」
- b. 「削除レコード」「サクジョ レコード」
- c. 「削除予定データ」「サクジョ ヨテイ データ」
- d. 「サクジョ ヨテイ レコード」「SAKUJO YOTEI RECORD」
- e. 「コノ レコード ワ サクジョ サレマス」「ワタシ ワ サクジョ サレタイ」
- f. 「I WANT TO BE DELETED」「SAKUJO」 等々

誤って作成した書誌レコード及び典拠レコードを直ちに削除する場合は次の手順に従って下さい。



*削除を行いたい書誌レコード全てに対して上の処理を行う





*削除を行いたい典拠レコード全てに対して上の処理を行う

誤って作成した書誌レコード、典拠レコードを「削除予定レコード」とする場合は、次のようにレコードを修正して下さい。

<書誌レコードの場合>

```

和図書書誌修正      (教育用) NC      1/      1
>: SAVE
<BN01615480>
GMD:      SMD:      YEAR:      CNTRY:      TTLL:      TXTL:      ORGL:
VOL:      ISBN:      PRICE:      NBN:
TR:削除予定レコード
PUB:削除
PHYS:
NOTE:
AL:
CLS:
CLS:
SH:
  
```

書誌レコードIDのみを残し、TRフィールド、PUBフィールド以外の消去可能なフィールドは全て消しておく。

<典拠レコードの場合>

```

著者名典拠修正      (教育用) NC      1/      1
>: SAVE
<DA01804535>
HDNG:削除予定レコード
TYPE:
DATE:
  
```

SF:
NOTE:

典拠レコードの場合は、システムがHDNGフィールドのヨミの部分を除いた統一標目形に対して、既に典拠ファイルに存在しているかどうかのチェックを行っているため、作業中に以下のようなメッセージが出力されることがあります。

```
著者名典拠修正      (教育用) NC                1/      1
TAP3328E 同一標目形のレコードが既に登録されています。
>: SAVE
<DA01804535>
HDNG:削除予定レコード
TYPE
DATE:
SF:
NOTE:
```

このようなメッセージが出力された場合は、次のように「削除予定レコード」の後に、年月日あるいは年月日と時間等を記録して典拠ファイル中でユニークにした後、再度「SAVE」コマンドを投入して下さい。

```
著者名典拠修正      (教育用) NC                1/      1
TAP3328E 同一標目形のレコードが既に登録されています。
>: SAVE
<DA01804535>
HDNG:削除予定レコード 1988.1.1 12:00
TYPE:
DATE:
SF:
NOTE:
```

↓ 「送信」

```
著者名典拠検索・簡略表示 (教育用) NC                1/      1
>:
AUTH =
AKEY :          PLACE=          DATE=
WORDS=
ID   :          SAID:
FILE :
1.<DA01804535>削除予定レコード 1988.1.1 12:00
```

1.

重複レコードについて

目録・所在情報サービスの参加館数は昭和62年12月14日現在で46大学を数え、総合目録データベースへの登録レコード数も着実に増加しつつあります。現在では、和・洋図書所蔵レコードの1ヶ月平均の合計は5万件に達するようになりました。

一方、データベースの大量化が進むにつれて、ここ最近、各参加館から重複レコードの報告が多く寄せられるようになってきました。

センター側で重複レコードを調査した結果、重複レコードが作成された主な原因として次のような点が考えられます。

1. EDITコマンドとCREATEコマンドの誤操作により、目録登録された。
2. 検索キー自動生成システム(DAEMON)が稼動していないため、トランザクション中のレコードを十分に検索せず目録登録された。
3. 検索が不十分なため、目録登録された。

このうち、1、3の原因によると思われる重複レコードは書誌、典拠とも8割以上を示しています。

以下に、1～3についてそれぞれ注意していただくことを示します。

目録登録時には、手元の資料が総合目録データベースに既に存在しているかどうかのチェックを十分に行ってください。

< 1に対する注意 >

特に1については、各参加館の目録担当者全員に登録操作の再確認をお願いします。目録登録の際に、総合目録データベース中のレコードと参照MARC中のレコードとを間違えてCREATEコマンドを発行したのではないかとと思われるケースが少なからず見受けられます。

検索した結果、該当レコードが存在せず、版表示が異なるもの、あるいは同一シリーズ中の図書等が、総合目録データベース中にのみ存在するというような場合には、やむなくCREATEコマンドを発行して、新しい書誌(別書誌)を作成することがありますが、その他の場合には総合目録データベース中のレコードに対してCREATEを発行することは避けて下さい。コマンド投入時には十分に注意を払った上で目録登録を行ってください。

< 2に対する注意 >

本センターでは、これまで検索キー自動生成システム(DAEMON)に対して幾つかの改善を加えて運用を試みて来ましたが、データベースの大量化が進むにつれて、同システムを稼働させた場合、端末の応答速度が極端に低下することが判明しています。

従って、現段階では、目録登録業務の運用を優先させるためにこのシステムの稼働を断念せざるを得ません。

検索キーの作成は、時差更新システムによって行っています。時差更新システムの運用は、昭和62年12月22日(火)より、月～土曜日の業務終了後に行うこととされています。

書誌ファイル及び典拠ファイルの検索キーは別紙のようになっています。この仕組みでわかるように、目録登録時に行う書誌、典拠確定(同定)のための作業では常にトランザクションファイルを意識して総合目録データベースを検索する必要があります。

書誌及び典拠トランザクションファイルにレコードが記録されるコマンドと、その際に生成される検索キーは次のようになっています。

	レコードが記録されるコマンド名	記録されるトランザクションファイル名	トランザクションファイルに記録された時点で切り出される検索キー
図 書	REGISTER 及び	和図書書誌トランザクションファイル	ID(書誌レコードID) PID(親書誌レコードID) ISBN ISSN NBN(JP番号等) NDLCN(国図番号) CNTRY(カントリーコード) AKEY
	SAVE	洋図書書誌トランザクションファイル	ID(書誌レコードID) PID(親書誌レコードID) ISBN ISSN NBN LCCN(LCカード番号) CNTRY(カントリーコード) AKEY
典 拠	CHOOSE 及び	著者名典拠トランザクションファイル	ID(典拠レコードID) SAID(SAFリンク先ID) AKEY
	SAVE	統一書名典拠トランザクションファイル	ID(典拠レコードID) SAID(SAFリンク先ID) AKEY

目録登録時には登録しようとする手元の資料に対して、まず上記の表が示す検索キーによって総合目録データベース(トランザクションファイルをも含む)を検索して下さい。

この作業を十分に行った上でヒットしなかった場合には、著者名、標題等から検索キーを選択し、再度総合目録データベースを検索して下さい。

なお、その際、できるだけFILE指定を行わないで下さい。FILE指定を行うことによって重複レコードが作成される可能性があります。

ファイル指定を行った場合

```
和図書書誌検索・簡略表示 (教育用)
>:
TITLE=
AUTH =
AKEY :          ISBN:4879300306      NBN:          NDLCN:
PUB  =          YEAR:                CENTRY:      LANG:
PLACE=
SH   =
WORDS=
ID   :          PID:
FILE :JP
```

↓

```
和図書書誌詳細表示 (教育用) JP          1/      1
>:
<GP07381559> RECST:n
GMD: SMD: YEAR:1985 CENTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:
VOL:          ISBN:4879300306 PRICE:2500円 NBN:JP86019076
TR:マークをうまく使うには : 機械可読目録入門 / 黒沢正彦, 西村徹編 // マーク オ
ウマク ツカウニワ
PUB:東京 : 三洋出版貿易 , 1985.3
PHYS:310p ; 21cm
NOTE:マークに関する文献目録:p273~301
AL:黒沢, 正彦 // クロサワ, マサヒコ <>
AL:西村, 徹 // ニシムラ, ツヨシ <>
CLS:NDC8:014.37
CLS:NDLC:UL31
SH:NDLSH:図書館 -- オートメーション//L
SH:NDLSH:情報検索//L
REM:001:86019076$100:¥A19860411 1985          0JPN 1312          $905:¥AUL31-89
```

ファイル指定を行わなかった場合

```
和図書書誌検索・簡略表示 (教育用)
>:
TITLE=
AUTH =
AKEY :          ISBN:4879300306      NBN:          NDLCN:
PUB  =          YEAR:                CENTRY:      LANG:
PLACE=
SH   =
WORDS=
ID   :          PID:
FILE :
```

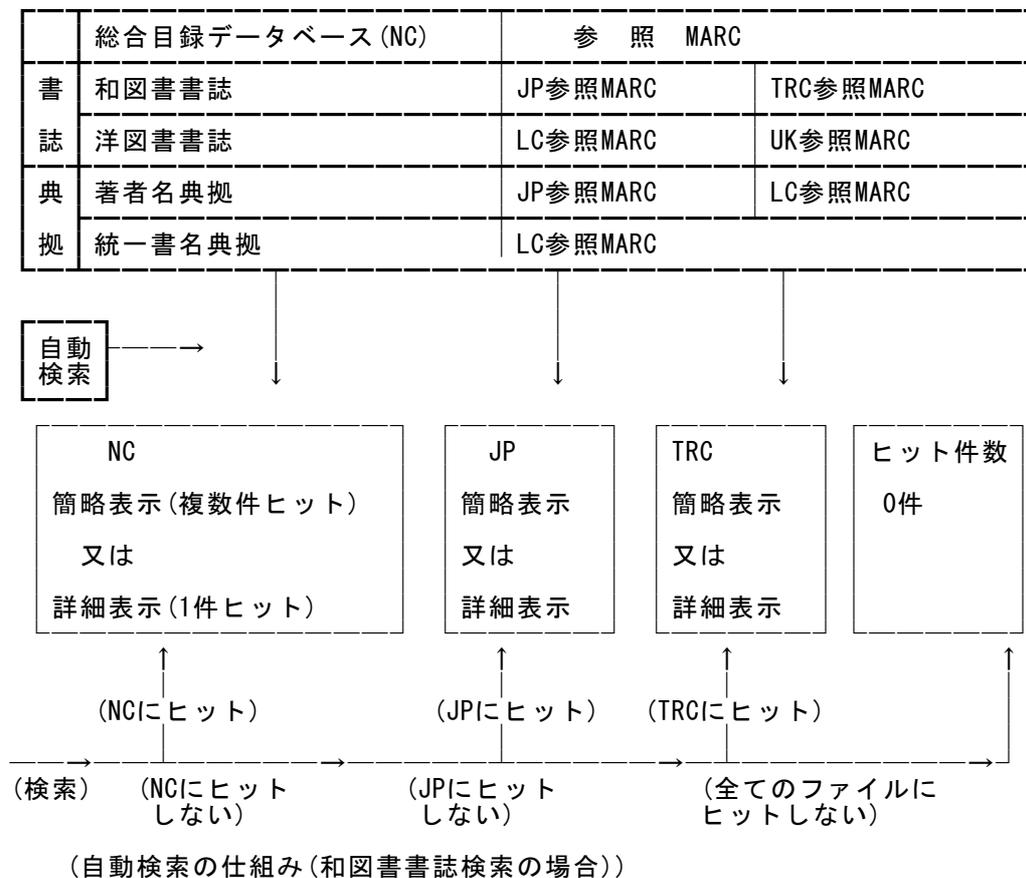
↓

```
和図書書誌詳細表示 (教育用) NC          1/      1
>:
<BN00104872>
GMD: SMD: YEAR:1985 CENTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:
VOL:          ISBN:4879300306 PRICE:2500円 NBN:JP86019076
TR:マークをうまく使うには : 機械可読目録入門 / 黒沢正彦, 西村徹編 // マーク オ
ウマク ツカウニワ : キカイ カドク モクロク ニュウモン
PUB:東京 : 三洋出版 , 1985
PHYS:vii, 310p. ; 21 cm
AL:黒沢, 正彦 // クロサワ, マサヒコ <DA00127384>
AL:西村, 徹 // ニシムラ, ツヨシ <DA00127420>
CLS:NDC8:014.37
CLS:NDLC:UL631
SH:NDLSH:図書館 -- オートメーション//L
SH:NDLSH:情報検索//L
```

上の例が示すように、登録時にFILE指定を行った場合には、当然指定されたFILEのみを検索しますので、総合目録データベースに重複レコードを作成する原因とな

ります。この点に注意して下さい。

目録システムでは、次に示すように、FILE指定を行わなくても自動的に全てのFILEを検索する仕組みとなっています。



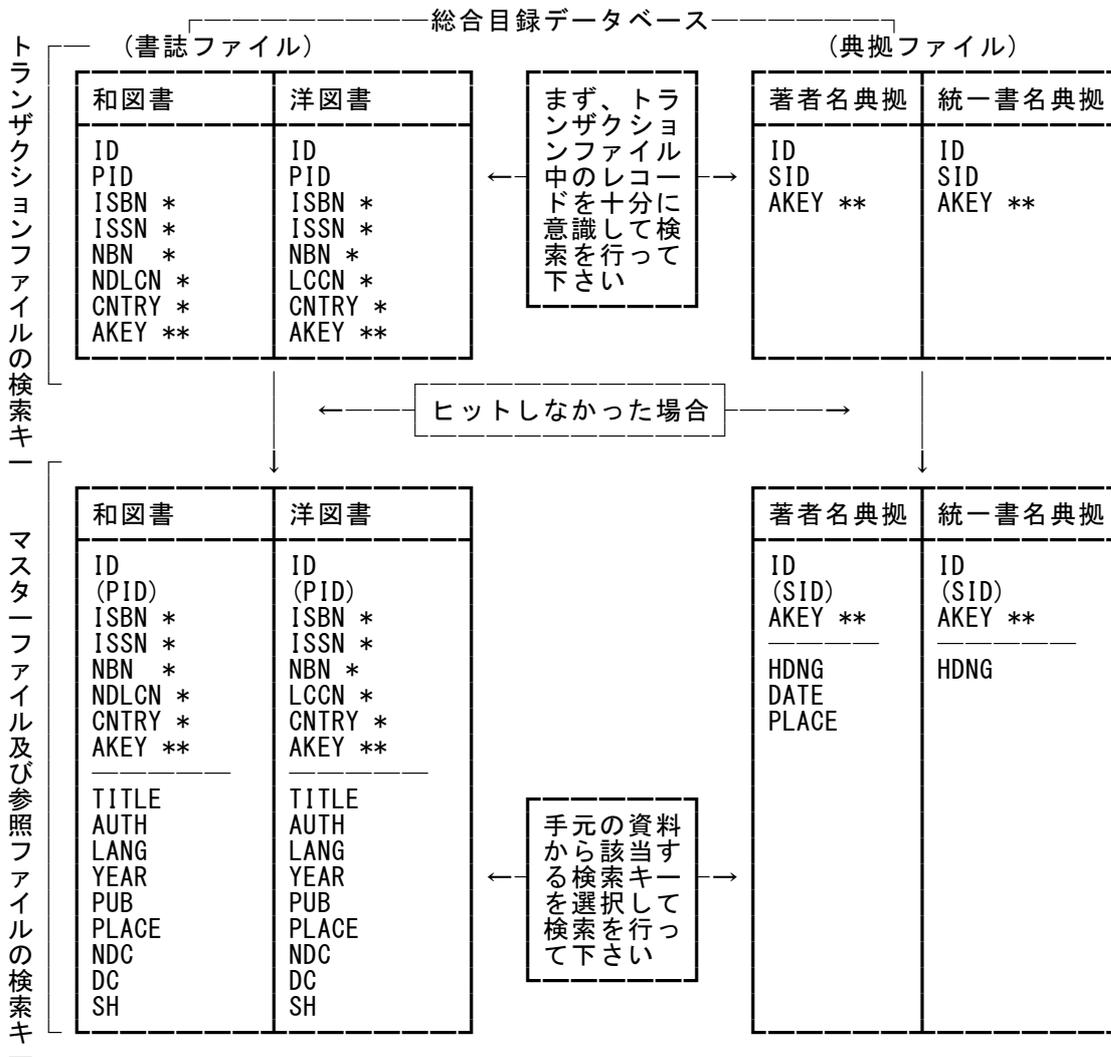
このように、ファイル指定を行わなくても、システムは与えられた検索条件でヒットするまで、上の表の優先順位でファイルを検索します。ヒットした場合は、ファイル中のレコードを簡略表示(複数件ヒットした場合)又は詳細表示(ヒット件数が1件の場合)します。全てのファイルを検索した結果ヒットしなかった場合には、「指定された検索条件でのヒット件数は0件です」というメッセージが出力されます。

以上は、洋図書書誌、著者名典拠、統一書名典拠検索についても同様です。

< 3に対する注意 >

重複レコードの大部分は検索不十分によるものです。総合目録データベース中には、本号の「目録システムの改善について」の「総合目録データベース検索キーワード増減表」で示したような検索キーが生成されています。

次に、目録登録時の検索手順を示します。目録登録の際には、手元の資料が総合目録データベース中に既に作成されているかどうかのチェックを十分に行って下さい。



(*) これらの検索キーについては、手元の資料に表示があっても総合目録データベース中のレコードには記述されていない場合があります。これらのキーでヒットしなかった場合には、AKEYによる検索、さらにヒットしなかった場合にはTITLE, AUTH等の検索キーで再検索することが必要です。

(**) AKEYはTR及びHDNGフィールドから切り出されていますが、記述の違い(副書名、責任表示(=書誌)付記事項(=典拠)の有無、書誌階層の認識の差異等)によって、AKEYの切出され方が異なっている場合がありますので、注意して下さい。

目録システムの仕様改訂について

No.10(1987.11.12)でお知らせした通り、目録システム仕様改訂のうち、第2期 実施予定分の「書誌構造の2階層化」について昭和62年12月14日(月)から運用を開始しています。

「書誌構造の2階層化」を運用するにあたって、次の点に留意して下さい。

1. 既存の3階層以上の書誌レコードについて

これまでに蓄積されている総合目録データベース中の3階層以上の書誌レコードについては、12月14日(月)から、センター側で2階層化の対策を行っています。その対象となる書誌レコードは12月10日現在で、和・洋図書書誌レコード合わせて、2,754件(資料-2)となっています。

センター側で行っている2階層化の対策とは以下の通りです。

ア 子書誌レコード(単行書誌単位)に対して、

- 最上位の集合書誌単位を表現している親書誌レコードと書誌構造リンクをつける。
- 番号等の領域に中位の集合書誌単位の標題、責任表示、標題のヨミ、番号等を上位から順番に記述する。
- 中位の集合書誌単位がもつ情報(VT,AL,UTL,ISBN等)を子書誌レコードの該当フィールドに記述する。

イ 中位の集合書誌単位に対して、

- 子書誌レコード群に対して1の作業が全て終了したことを確認した後に、中位の書誌レコードを「削除予定レコード」とする。
- 「削除予定レコード」となっている書誌レコードを消去する。

しかし、これまでの調査でその約16.5%(454件)の書誌レコードがセンター側で2階層化の対策を行うことができないものであることが判明しました。

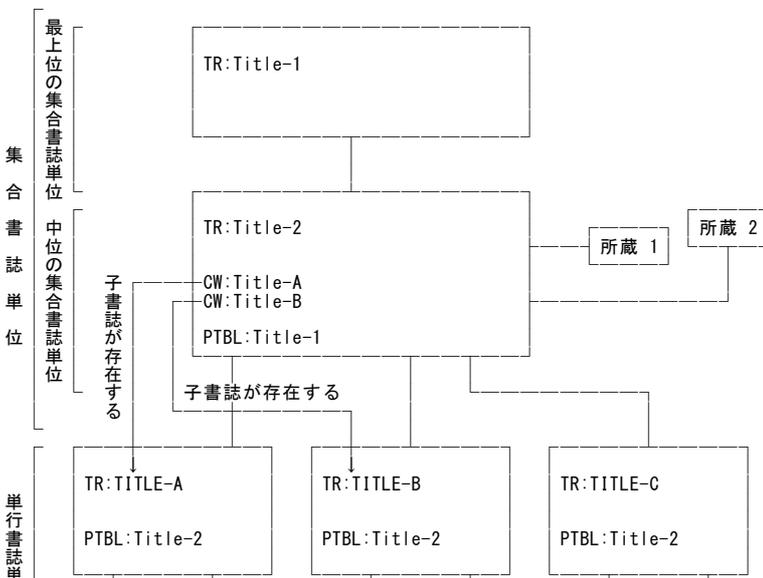
具体的には、中位の書誌レコードに対して所蔵がリンクしているものです。特に3階層となる書誌レコードに集中しています。「固有の標題」をもつ、多巻ものの各巻書名(子書誌レコードとすべきもの)に対して、総合目録データベース中に子書誌レコードが存在するにも関わらず、中位の集合書誌レコードにCWフィールド(内容著作注記)を繰り返して、各巻の標題及び責任表示が記述されている。さらに、そのレコードに対して、所蔵レコードがリンクしているというレコードです。

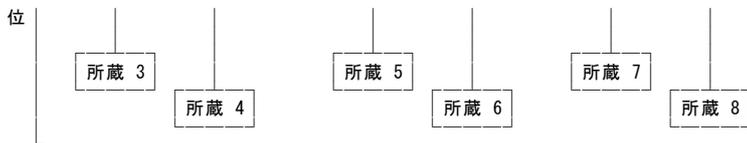
前頁に、センター側で行う2階層化の作業について示しましたが、中位の書誌レコードは全て「削除予定レコード」とする予定です(バランスしないものを除く)。

しかし、所蔵レコードがリンクしているものについては、センター側でこの作業が行えないため、このようなレコードについては再調査し、リンクしている所蔵レコードの該当接続館に、所蔵レコードを子書誌レコード(単行書誌単位)に再リンクしていただくようお願いする予定です。

具体的には次のような例です。

(所蔵1、所蔵2はTitle-2ではなくTITLE-AあるいはTITLE-Bとリンクすべきもの)





従って、中位の書誌レコードは、接続館側をお願いする作業が終了した後に、「削除 予定レコード」とします。そのため、総合目録データベース内には、当分の間、3階層 以上の書誌階層をもつレコードが存在することになります。

手元の資料が3階層以上の書誌構造をもつものであれば、次の手順に従って下さい。

ア 総合目録データベースの書誌レコードにヒットした場合

子書誌レコード(単行書誌単位)に所蔵レコードをリンクして下さい。

イ 総合目録データベースの書誌レコードにヒットしなかった場合

「総合目録情報の基準」改訂条項に従って目録登録を行って下さい。

ただし、ア、イの場合とも「バランスしない書誌構造」に該当する場合には例外とします。「バランスしない書誌構造」のため、中位の集合書誌単位に所蔵レコードがリンクしている場合には、センター側で、例-1のように書誌レコードを修正します。

手元の資料が総合目録データベースにヒットし、「バランスしない書誌構造」に該当する場合には、中位の集合書誌単位のレコードに所蔵をリンクしても構いません。

また、手元の資料が総合目録データベースにヒットせず、しかも、「バランスしない書誌構造」を適用しなければならない場合にも、例-1に従って目録登録を行って下さい。

(例-1)

```
和図書書誌詳細表示      NC          1/      1
>:
<BN0035126X>
GMD: SMD: YEAR:          CNTRY:ja TLL: jpn TXTL: ORGL:
VOL: 1 ISBN:             PRICE:
TR:応用数学講座 // オウヨウ スウガク コウザ
PUB:東京 : コロナ社
PHYS:
```

```
和図書書誌詳細表示      NC          7/      9
>:
<BN00351179>
GMD: SMD: YEAR:1962 1977 CNTRY:ja TLL: jpn TXTL: jpn ORGL:
VOL:1 ISBN:             PRICE:2000円
TR:ベクトル・テンソルおよびその応用 // ベクトル・テンソル オヨビ ソノ オウヨウ
PUB:東京 : コロナ社 , 1962.7-1977.5
PHYS:2冊 ; 22cm
NOTE:1の著者:田辺行人
NOTE:子書誌レコードあり:線形代数の方法(ベクトル・テンソルおよびその応用,2)
PTBL:応用数学講座 // オウヨウ スウガク コウザ <BN0035126X> 第2巻, 第14巻//b
AL:田辺 行人(1927-) // タナベ, ユキト <DA0041784X>著
CLS:NDC8:414.7
SH:NDLSH:ベクトル解析//L
```

(バランスしない書誌構造)
「ベクトル・テンソルおよびその応用」の
2には固有の標題があり、1には固有の標題
なし

```
和図書書誌詳細表示      (教育用) NC          1/      1
>:
<BN00607545>
GMD: SMD: YEAR:1977 CNTRY:ja TLL: jpn TXTL: jpn ORGL:
VOL: 1 ISBN:             PRICE:4300円 NBN:JP77019192
TR:線形代数の方法 / 野澤豊吉著 // センケイ ダイスイウ ノ ホウホウ
PUB:東京 : コロナ社 , 1977.5
PHYS:414p ; 22cm
PTBL:ベクトル・テンソルおよびその応用 // ベクトル・テンソル オヨビ ソノ
      オウヨウ <BN00351179> 2//b
AL:野澤 豊吉 // ノザワ, トヨキチ <DA00663868>
CLS:NDC6:421.5
CLS:NDLC:MA171
SH:NDLSH:ベクトル解析//L
SH:NDLSH:テンソル//L
SH:NDLSH:線型代数学//L
```

↓ 「書誌構造の2階層化」後

```
和図書書誌詳細表示      NC          1/      1
>:
<BN0035126X>
GMD: SMD: YEAR:          CNTRY:ja TLL: jpn TXTL: ORGL:
VOL: 1 ISBN:             PRICE:
TR:応用数学講座 // オウヨウ スウガク コウザ
PUB:東京 : コロナ社
PHYS:
```

```
和図書書誌詳細表示      NC          7/      9
>:
<BN00351179>
GMD: SMD: YEAR:1962 1977 CNTRY:ja TLL: jpn TXTL: jpn ORGL:
```

VOL:1 ISBN: PRICE:2000円
 TR:ベクトル・テンソルおよびその応用 // ベクトル・テンソル オヨビ ソノ オウヨウ
 PUB:東京 : コロナ社 , 1962.7-1977.5
 PHYS:2冊 ; 22cm
 NOTE:1の著者:田辺行人
 PTBL:応用数学講座 // オウヨウ スウガク コウザ <BN0035126X> 第2巻 //b
 AL:田辺, 行人 (1927-) // タナベ, ユキト <DA0041784X>
 CLS:NDC8:414.7
 SH:NDLSH:ベクトル解析 //L

和図書誌詳細表示 NC 1/ 1
 >
 <BN00607545>
 GMD: SMD: YEAR:1977 CENTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:
 VOL: ISBN: PRICE:4300円 NBN:JP77019192
 TR:線形代数の方法 / 野澤豊吉著 // センケイ ダイスイノ ホウホウ
 PUB:東京 : コロナ社 , 1977.5
 PHYS:414p ; 22cm
 PTBL:応用数学講座||オウヨウ スウガク コウザ<DN0035126X>第14巻,ベクトル
 ・テンソルおよびその応用||ベクトル・テンソル オヨビ ソノ オウヨウ 2//a
 AL:野澤, 豊吉 // ノザワ, トヨキチ <DA00663868>
 CLS:NDC6:421.5
 CLS:NDLC:MA171
 SH:NDLSH:ベクトル解析 //L
 SH:NDLSH:テンソル //L
 SH:NDLSH:線型代数学 //L

「応用数学講座」の子書誌を簡略表示

和図書誌検索・簡略表示 (教育用) NC 1- 10/ 20
 >
 TITLE=
 AUTH =
 AKEY : ISBN: NBN: NDLCN:
 PUB : YEAR:
 PLACE= CENTRY: LANG:
 SH =
 WORDS=
 ID : PID:BN00666103
 FILE :
 1.<BN00524200>微分方程式とその応用 / 犬井鉄郎著. -- 1957. -- (応用数学
 講座 ; 9).
 2.<BN00531716>常微分方程式とその応用 / 三木忠夫著. -- 1956. -- (応用
 10.<BN00351179>ベクトル・テンソルおよびその応用 ; -- 1970. -- (応用数学
 講座 ; 第2巻).
 11.<BN00607545>線形代数の方法 / 野澤豊吉著. -- 1977 -- (応用数学講座 ;
 第14巻,ベクトル・テンソルおよびその応用||ベクトル・テンソル オヨビ ソノ
 オウヨウ ; 2).

オンライン雑誌目録システム(和雑誌)の運用開始

目録・所在情報サービス業務のうち、「和雑誌目録登録」業務の運用を昭和63年1月より開始します。「洋雑誌目録登録」業務については、現在、欧文編新版データベースの編集中ですので、更新は行わないで下さい。洋雑誌を含めたオンライン雑誌目録システムの本格運用は、欧文編新版データベースの編集が完了し、総合目録データベースに移行した時点で開始する予定です。昭和63年度当初を目途に作業を行っています。

今回サービスを開始する「和雑誌目録登録」の運用にあたっては、以下の点に留意して下さい。

(1) 雑誌目録データ作成の基準

来年度の本格運用時まで、雑誌目録データの作成のための「目録情報の基準」を作成、配布する予定で現在準備検討中ですが、それまでの間は「目録情報の基準(雑誌書誌ファイル、雑誌所蔵ファイル)に関する暫定措置」を適用します。

(2) 運用体制

1. 時差更新、定期更新は図書目録システムでの更新頻度と同様に運用します。
2. 定期版サービスについても、図書目録システムと同様の体制をとります。
3. 個別版サービスは、参加館からの請求のあった時点で提供しますが、同一館に対する提供頻度は当面、年1回程度とします。ただし、請求館の所蔵データが更新されない場合は、その期間を通じて1回とします。
4. 所蔵データは磁気テープ(個別版フォーマットのみ)による報告も可とします。磁気テープによった場合の更新頻度は年1回を基本とします。
5. 重要書誌レコードの処理等に伴う書誌番号(NCID)の変更は、オンライン・システムニュースレター等で広報します。
6. データベースのメンテナンス結果の参加館システムへの反映は、個別版の提供によって行います。

(3) データの確認作業について

1. 学術情報センターでは、変遷データおよびチェック用巻次年次の作成と修正に関して、入力データの確証作業(オーセンティケーション)を行います。また、データベースの品質維持のため、主として学術雑誌総合目録の編集時点に、重複書誌データの処理等のクリーニング作業を行います。
2. データ入力時点およびデータ利用時点での誤りの発見は、接続館側で確証作業を行うこととします。

(4) 書誌データの作成と修正上の注意事項*

1. 書誌データを新規に作成する場合は、総合目録データベースを十分検索し、重複書誌を作成しないよう注意して下さい。
2. データの作成は原則として書誌的な初号によって行い、それ以外の号による場合は必ず一般注記に記述根拠の巻号表示を行って下さい。
3. 既存書誌データの修正は、誤りでない限り原則として行わないで下さい。誤りの訂正にあたっては、そのレコードが異なる資料を表現するようなことは避けて下さい。(例.オリジナル版を復刻版に訂正してしまうようなケース)
4. 既存書誌データが書誌的な初号から作成されている場合は、同じ初号による以外の修正は避けて下さい。初号以外から作成されている場合は、初号もしくは既存データの記述巻号より以前に出版された巻号以外の修正は避けて下さい。なお、その際、初号以外による場合は必ず記述根拠の巻号表示を注記して下さい。
5. 既存書誌データに書誌的な初号以外から追加する必要がある場合は、記述根拠の巻号表示を注記して下さい。

*これらの項目は「目録情報の基準」に盛り込む予定です。

(5) 変遷データの作成および修正

1. 変遷関係の追加、修正、削除等がある場合は、「変遷注記用データシート」([別紙1](#))に、変遷図、変遷図中の書誌等を「学術雑誌総合目録データ記入要項」に基づいて記入し、典拠となる情報源を添付した上、学術情報センターへ報告して下さい。
2. 変遷関係の追加の場合は、関連する書誌の変遷注記フィールド(BHNT)に誌名と誌名番号(NCID)およびファミリー番号(FID)(新規ファミリーの時は空欄のまま)を仮入力して下さい。ただし、修正、削除等の場合は、書誌の変遷注記フィールド(BHNT)を直接修正、削除することは避けて下さい。*
3. 学術情報センターでは、「変遷注記用データシート」による報告に基づき、ファミリー番号の付与、変遷注記データの書き換えを行います。変遷データの更新は当面、年1回程度とします。

*変遷データの更新は、センターで作成する変遷データの2項関係ファイルによって行われるので、BHNTを書き換えても、変遷マップ等は修正されません。

(6) チェック用巻次・年月次データ(CHK)の作成および修正

1. 総合目録データベース上に新規の書誌を作成した場合、あるいは書誌中の巻次・年月次(VLYR)の修正をした場合は、必ず「チェック用巻次・年月次データシート」(別紙2)に当該書誌の巻次・年月次(VLYR)およびチェック用巻次・年月次データ(CHK)を記入し、典拠となる情報源を添付の上、学術情報センターへ報告して下さい。
2. チェック用巻次・年月次データは、学術雑誌総合目録編集時に所蔵データの巻次、年次の範囲チェックに使用します。オンラインの所蔵データ入力時には、当面、運用しません。
3. チェック用巻次・年月次データの inputs は、報告に基づきセンターで行います。

(7) 報告資料の送付

上記の「変遷注記用データシート」、「チェック用巻次・年月次データシート」および典拠の情報源は、定期的(月、四半期、半年、年に1度)に、学術情報センター雑誌目録情報係あてに送付して下さい。

なお、システムの不具合に関する件は図書目録システムの場合と同様に「オンラインシステム質問書/回答書」(利用の手引き、p.143)に記入し、システム管理課システム業務係あて送付下さい。

各データシート類(別紙1、2等)は、コピーして使用下さい。

(8) 入力開始の通知

オンライン雑誌目録システムを利用し、総合目録データベースの形成を開始される接続館は、あらかじめ雑誌目録情報係にご一報下さい。